

前腕の重量変化が到達把持運動に与える影響
(研究の成果発表)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 安藤, 瑠弥, 板口, 典弘 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027442

前腕の重量変化が到達把持運動に与える影響

安藤瑠称(静岡大学情報学部), 板口典弘(大学院情報学領域)

近年, 筋電義手などが発達している一方, 使いにくさから使うのを断念する人が多いという現状がある。ここでは, その要因の一つとして”重さ”に着目した。先行研究から, 到達運動において手が重くなると手の軌道がより低くなることが明らかにになっている。本研究では, 前腕の重量変化が到達把持運動に及ぼす影響を検討した。実験では, おもりを付けていない条件(N条件)と前腕におもりを付けた条件(100g=H条件, 200g=L条件)の計3条件を, 右手と左手それぞれで実施した(計6条件)。実験の結果, H条件での手首の最大の高さは他の条件よりも高くなった。すなわち, 前腕の重量変化は到達把持運動においても手首の高さに大きく影響するが, 到達運動の場合とは逆に, 前腕が重い条件において高くなることが明らかとなった。